

# 《 肉 用 牛 》

## 1. 飼養戸数

肉用牛の飼養戸数は、小規模層を中心に毎年減少しており、近畿の平成17年は2,880戸、全国に占めるシェアは約3%。

府県別に見ると、兵庫県が2,370戸と近畿の8割強を占めている。

肉用牛飼養戸数 (単位：戸、%)

	元年	5年	10年	16年	17年
全 国	246,100 ( 94.6 )	199,000 ( 94.7 )	133,400 ( 93.4 )	93,900 ( 95.7 )	89,600 ( 95.4 )
近 畿	7,900 ( 96.0 )	6,530 ( 97.2 )	4,690 ( 93.1 )	3,010 ( 94.4 )	2,880 ( 95.7 )
滋 賀	250 ( 100.0 )	240 ( 104.3 )	160 ( 88.9 )	121 ( 100.0 )	122 ( 100.8 )
京 都	540 ( 87.1 )	410 ( 93.2 )	260 ( 92.9 )	189 ( 99.5 )	171 ( 90.5 )
大 阪	100 ( 83.3 )	80 ( 88.9 )	50 ( 100.0 )	41 ( 41.0 )	36 ( 87.8 )
兵 庫	6,600 ( 96.6 )	5,480 ( 97.5 )	4,000 ( 93.7 )	2,500 ( 93.6 )	2,370 ( 94.8 )
奈 良	150 ( 100.0 )	130 ( 92.9 )	90 ( 100.0 )	69 ( 104.5 )	82 ( 118.8 )
和歌山	250 ( 92.6 )	200 ( 95.2 )	140 ( 87.5 )	90 ( 90.0 )	92 ( 102.2 )

資料：農林水産省「畜産統計」、( )内は対前年比

## 2. 飼養頭数

肉用牛の飼養頭数は、平成8年以降減少傾向で推移してきたが、17年は微増。近畿の全国に占めるシェアは約3%強。

1戸当たり飼養頭数は僅かながら増加しており、規模拡大が進んでいる。

全国平均が30.7頭/戸であるのに対し、近畿の平均は33.2頭/戸と若干上回っている。

特に、滋賀県は141.0頭/戸と全国2位である。(1位は北海道 146.8頭/戸)

肉用牛飼養頭数 (単位：頭、%)

	元年	5年	10年	16年	17年	頭/戸
全 国	2,651,000 ( 100.0 )	2,956,000 ( 102.0 )	2,848,000 ( 99.9 )	2,788,000 ( 98.2 )	2,747,000 ( 98.5 )	30.7
近 畿	106,500 ( 99.3 )	112,800 ( 101.8 )	108,900 ( 98.6 )	95,400 ( 94.3 )	95,600 ( 100.2 )	33.2
滋 賀	20,200 ( 100.5 )	21,100 ( 97.7 )	17,700 ( 100.0 )	16,400 ( 97.0 )	17,200 ( 104.9 )	141.0
京 都	8,090 ( 93.5 )	8,760 ( 99.9 )	8,620 ( 99.1 )	7,380 ( 89.8 )	8,480 ( 114.9 )	49.6
大 阪	4,480 ( 79.6 )	3,750 ( 110.9 )	2,940 ( 100.0 )	1,560 ( 71.2 )	1,310 ( 84.0 )	36.4
兵 庫	61,500 ( 101.7 )	68,000 ( 103.8 )	69,200 ( 98.2 )	61,900 ( 96.3 )	60,500 ( 97.7 )	25.5
奈 良	3,590 ( 98.4 )	3,710 ( 97.4 )	4,350 ( 98.6 )	4,210 ( 97.9 )	3,790 ( 90.0 )	46.2
和歌山	8,640 ( 99.7 )	7,460 ( 96.6 )	6,110 ( 99.7 )	3,900 ( 72.1 )	4,320 ( 110.8 )	47.0

資料：農林水産省「畜産統計」、( )内は対前年比

## 3. 子取り用めす牛飼養頭数

子取り用めす牛頭数は、平成7年までは増加してきたが、8年以降減少に転じ、16年は17,500頭、全国に占めるシェアは約3%弱。

肉用子牛の主産地であり、系統牛造成地帯として有名な兵庫県が、近畿の子取り用めす牛の約8割を占めている。

子取り用めす牛飼養頭数 (単位：頭、%)

	元年	5年	10年	16年	17年	頭/戸
全 国	672,900 ( 100.2 )	744,700 ( 100.8 )	649,100 ( 99.3 )	624,300 ( 97.2 )	623,200 ( 99.8 )	7.0
近 畿	22,900 ( 99.6 )	25,400 ( 104.1 )	24,000 ( 98.0 )	17,800 ( 93.7 )	17,500 ( 98.3 )	6.1
滋 賀	760 ( 111.8 )	1,420 ( 106.0 )	980 ( 124.1 )	760 ( 80.0 )	740 ( 97.4 )	6.1
京 都	1,730 ( 82.0 )	1,610 ( 101.3 )	1,230 ( 92.5 )	1,010 ( 89.4 )	990 ( 98.0 )	5.8
大 阪	60 ( 66.7 )	20 ( 66.7 )	30 ( 100.0 )	30 ( 100.0 )	10 ( 33.3 )	0.3
兵 庫	19,800 ( 100.5 )	21,400 ( 103.9 )	20,900 ( 97.7 )	15,200 ( 94.4 )	15,000 ( 98.7 )	6.3
奈 良	240 ( 120.0 )	260 ( 96.3 )	200 ( 95.2 )	200 ( 133.3 )	190 ( 95.0 )	2.3
和歌山	320 ( 123.0 )	650 ( 108.3 )	690 ( 100.0 )	600 ( 88.2 )	570 ( 95.0 )	6.2

資料：農林水産省「畜産統計」、「平成12年家畜の飼養動向について」

：( )内は対前年比

4. 肉用種肥育飼養頭数

飼養頭数は、平成7年まで増加してきたが、8年以降全国と同様に減少、ここ数年BSEの発生等の影響から増減をくり返していたが、17年は対前年比12%増。

肉用種肥育飼養頭数

(単位：頭、%)

	元年	5年	10年	16年	17年
全 国	696,500 ( 100.1 )	759,500 ( 103.2 )	745,800 ( 95.1 )	717,900 ( 98.0 )	716,300 ( 99.8 )
近 畿	33,300 ( 102.8 )	39,400 ( 107.7 )	41,100 ( 97.6 )	35,500 ( 95.9 )	39,800 ( 112.1 )
滋 賀	6,480 ( 123.9 )	8,850 ( 114.2 )	8,460 ( 104.2 )	7,730 ( 94.3 )	8,920 ( 115.4 )
京 都	3,650 ( 93.1 )	4,490 ( 101.1 )	4,800 ( 98.8 )	4,510 ( 94.4 )	5,480 ( 121.5 )
大 阪	2,850 ( 73.1 )	1,140 ( 78.1 )	1,210 ( 82.9 )	750 ( 90.4 )	590 ( 78.7 )
兵 庫	16,200 ( 105.9 )	21,400 ( 108.1 )	22,900 ( 96.6 )	19,800 ( 95.7 )	20,900 ( 105.6 )
奈 良	1,660 ( 100.0 )	2,000 ( 139.9 )	2,100 ( 97.7 )	1,880 ( 128.8 )	2,110 ( 112.2 )
和歌山	2,480 ( 104.2 )	1,500 ( 84.3 )	1,610 ( 86.1 )	860 ( 86.9 )	1,810 ( 210.5 )

資料：農林水産省「畜産統計」、( )内は対前年比

5. 乳用種肥育飼養頭数

飼養頭数は、全国では前年並みで推移していたが、平成15年以降減少に転じた。管内は昭和62年以降引き続き減少傾向で推移。16年の飼養頭数は、27,500頭、17年は対前年比6.5%減、全国に占めるシェアは約3%である。

乳用種肥育飼養頭数

(単位：頭、%)

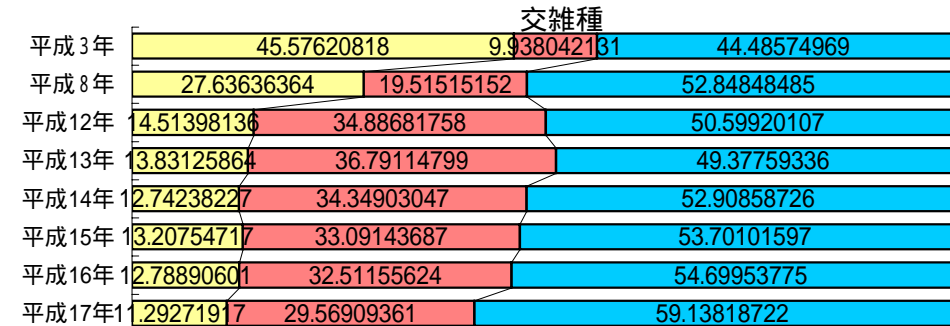
	元年	5年	10年	16年	17年
全 国	1,024,000 ( 98.8 )	1,088,000 ( 100.5 )	1,109,000 ( 103.5 )	1,080,000 ( 98.2 )	1,049,000 ( 97.1 )
近 畿	43,300 ( 96.0 )	40,700 ( 92.7 )	36,300 ( 101.4 )	29,400 ( 92.2 )	27,500 ( 93.5 )
滋 賀	12,800 ( 90.1 )	10,700 ( 85.6 )	8,220 ( 93.7 )	7,690 ( 102.1 )	7,190 ( 93.5 )
京 都	2,660 ( 103.5 )	2,000 ( 102.0 )	1,970 ( 109.4 )	1,510 ( 110.2 )	1,540 ( 102.0 )
大 阪	1,580 ( 94.0 )	2,580 ( 138.0 )	1,680 ( 125.4 )	750 ( 89.3 )	700 ( 93.3 )
兵 庫	18,700 ( 98.9 )	18,700 ( 92.6 )	18,600 ( 101.6 )	15,300 ( 91.1 )	15,000 ( 98.0 )
奈 良	1,700 ( 96.0 )	1,440 ( 70.9 )	2,030 ( 100.5 )	1,980 ( 81.8 )	1,380 ( 69.7 )
和歌山	5,480 ( 91.5 )	5,290 ( 98.9 )	3,820 ( 107.3 )	2,140 ( 73.5 )	1,710 ( 79.9 )

資料：農林水産省「畜産統計」、( )内は対前年比

平成3年に交雑種が区別集計されるようになったが、シェアは3年10%から、13年の37%と大幅に増加したものの、17年は30%とやや減少した。

肥育牛構成割合

(単位：%)



資料：農林水産省「畜産統計」